



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 萩原電気ホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 7467 URL <https://www.hagiwara.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 守孝
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 平川 佳弘 TEL 052-931-3511
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	165,437	23.2	6,441	52.5	6,146	47.6	3,939	16.8
2023年3月期第3四半期	134,233	19.4	4,224	44.8	4,163	45.5	3,372	78.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,602百万円 (14.3%) 2023年3月期第3四半期 4,027百万円 (95.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	413.33	-
2023年3月期第3四半期	380.87	-

(注) 前連結会計年度末において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期第3四半期に係る各数値については暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	120,279	49,802	39.6
2023年3月期	106,577	43,531	38.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 47,672百万円 2023年3月期 41,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	60.00	-	95.00	155.00
2024年3月期	-	95.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	90.00	185.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2024年3月期（予想）期末配当の内訳 普通配当 80円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	227,500	22.3	8,350	24.2	8,200	27.8	5,300	7.9	549.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	10,118,000株	2023年3月期	9,018,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	155,471株	2023年3月期	158,474株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	9,530,106株	2023年3月期3Q	8,855,885株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い経済活動は正常化に向かいつつも、世界的なインフレの長期化や金融引き締めによる景気への影響、中国経済の先行き懸念等もあり、依然として不透明な状況が続きました。

当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、半導体不足の緩和により自動車生産台数が回復したことに加えて、電動化領域を中心とした半導体・電子部品の需要が拡大するなど引き続き堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、新たな価値を創造し提供する企業グループへの変革を加速させ、お客様やパートナー様から選ばれる存在を目指し、グローバルサプライチェーンの安定化とお客様やパートナー様との関係強化に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,654億37百万円（前年同四半期比23.2%増）となり、営業利益は64億41百万円（前年同四半期比52.5%増）、経常利益は61億46百万円（前年同四半期比47.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は39億39百万円（前年同四半期比16.8%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(デバイス事業)

デバイス事業では、電子制御が進む自動車向けシステムLSIなどの半導体や電子部品の販売及び技術支援、組込システムのP o C（概念実証）開発支援や組込ソフトウェアを中心とした受託開発事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、自動車生産台数の回復や供給品の採用車種拡大などにより半導体や電子部品の需要が好調だったことに加え、円安などの寄与があった結果、デバイス事業の売上高は1,451億78百万円（前年同四半期比25.4%増）、営業利益は51億14百万円（前年同四半期比87.4%増）となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業では、IT機器、組込機器及び計測機器の販売や、ITプラットフォーム基盤及びITシステムの構築に加え、自動化・省力化に貢献する各種FA・特殊計測システムの設計・製造・販売及び産業用コンピュータの開発・製造・販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、ITプラットフォーム基盤や業務効率化を目的としたシステム構築、電動化領域を中心とした設備投資需要などを取り込んだ一方で、産業機器市場における受注調整の影響を受けた結果、ソリューション事業の売上高は202億59百万円（前年同四半期比9.6%増）、営業利益は13億26百万円（前年同四半期比11.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて137億1百万円増加し1,202億79百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて133億30百万円増加し1,126億28百万円となりました。これは主に、電子記録債権が53億14百万円、現金及び預金が36億17百万円、商品及び製品が25億39百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3億71百万円増加し76億51百万円となりました。これは主に、有形固定資産が2億41百万円増加したことによるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて74億30百万円増加し704億77百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて75億63百万円増加し453億38百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が37億13百万円、短期借入金が29億71百万円、電子記録債務が12億10百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1億32百万円減少し251億39百万円となりました。これは主に、その他のうち繰延税金負債が1億14百万円増加した一方で長期借入金が2億76百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて62億70百万円増加し498億2百万円となりました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ17億38百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は39.6%（前連結会計年度末は38.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,920	14,537
受取手形、売掛金及び契約資産	32,735	33,279
電子記録債権	15,537	20,851
有価証券	—	105
商品及び製品	34,411	36,951
仕掛品	1,191	1,396
原材料及び貯蔵品	1,813	2,156
その他	2,704	3,357
貸倒引当金	△16	△7
流動資産合計	99,297	112,628
固定資産		
有形固定資産	4,297	4,538
無形固定資産	222	265
投資その他の資産		
その他	2,797	2,887
貸倒引当金	△37	△40
投資その他の資産合計	2,760	2,847
固定資産合計	7,280	7,651
資産合計	106,577	120,279
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,408	21,122
電子記録債務	3,823	5,034
短期借入金	6,084	9,056
1年内返済予定の長期借入金	4,152	3,902
未払法人税等	1,476	954
製品保証引当金	40	40
受注損失引当金	27	14
その他	4,759	5,212
流動負債合計	37,774	45,338
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	14,844	14,568
その他	427	571
固定負債合計	25,271	25,139
負債合計	63,046	70,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,361	6,099
資本剰余金	4,874	6,616
利益剰余金	31,529	33,685
自己株式	△290	△284
株主資本合計	40,474	46,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305	392
為替換算調整勘定	772	1,297
退職給付に係る調整累計額	△152	△133
その他の包括利益累計額合計	924	1,556
非支配株主持分	2,131	2,129
純資産合計	43,531	49,802
負債純資産合計	106,577	120,279

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	134,233	165,437
売上原価	121,688	150,103
売上総利益	12,545	15,334
販売費及び一般管理費	8,320	8,893
営業利益	4,224	6,441
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	21	21
受取保険金	13	2
その他	97	45
営業外収益合計	138	71
営業外費用		
支払利息	91	156
社債利息	—	32
為替差損	58	136
売上債権売却損	27	11
その他	22	30
営業外費用合計	199	366
経常利益	4,163	6,146
特別利益		
投資有価証券売却益	30	—
負ののれん発生益	670	—
受取補償金	—	164
その他	—	6
特別利益合計	701	170
特別損失		
固定資産処分損	1	2
輸送事故による損失	—	149
その他	0	—
特別損失合計	1	152
税金等調整前四半期純利益	4,863	6,164
法人税等	1,459	2,193
四半期純利益	3,403	3,971
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,372	3,939

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,403	3,971
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△49	86
繰延ヘッジ損益	23	—
為替換算調整勘定	655	525
退職給付に係る調整額	△5	18
その他の包括利益合計	623	631
四半期包括利益	4,027	4,602
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,996	4,570
非支配株主に係る四半期包括利益	30	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	デバイス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	115,756	18,477	134,233	—	134,233
セグメント間の内部売上高 又は振替高	126	70	196	△196	—
計	115,882	18,547	134,429	△196	134,233
セグメント利益	2,728	1,495	4,224	—	4,224

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ソリューション事業」セグメントにおいて、大崎エンジニアリング株式会社(2022年9月30日付で萩原エンジニアリング株式会社へ商号変更)の株式を取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては670百万円であります。

なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

また、負ののれん発生益は「注記事項(企業結合等関係)」の「比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により算定しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	デバイス事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	145,178	20,259	165,437	—	165,437
セグメント間の内部売上高 又は振替高	119	35	154	△154	—
計	145,297	20,294	165,591	△154	165,437
セグメント利益	5,114	1,326	6,441	—	6,441

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2022年9月30日に行われた萩原エンジニアリング株式会社との企業結合について前第3四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度末に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。主に固定資産が減少し、当初暫定的に算定された負ののれん発生益の金額882百万円が211百万円減少しております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、親会社株主に帰属する四半期純利益が211百万円減少しております。